

令和7年度

## 施政方針と予算(概要版)

# 施政方針

周南市長  
藤井 律子



### はじめに

現代は、あらゆるものを取り巻く環境が複雑で曖昧さを増し、想定外のこと頻発し、将来の予測が困難な「不確実性の時代」といわれています。

これは、気候変動、ICTの浸透、人口減少、消費趣向や人々の価値観の変化などさまざまな要因の複雑な絡みを背景としております。また、世界各地での戦争や紛争・対立なども遠く離れた日本の一地方の経済にも大きな影響を与えているところで。

今世紀に入りこの流れは一層顕著となっており、これは特定の時代や分野において支配的な規範となる「物の見方や捉え方」である**パラダイムの、急激なシフト(変化)**によるものと考えられます。

わが国ではパラダイムは移りゆくものという認識が低く、世界経済の多極化、脱炭素の流れ、AIの浸透などのシフトにやや疎さがありました。私たちはこれを、予測不可能、不透明な時代などと表現して語りつつも、本質を正面から受け止めることを避けてきたところがありました。

本市はこれからの市政において、あらゆる場面で**パラダイムシフト**を見据え、現在のみならず未来に向けて最適な施策展開を行うよう心掛けてまいりたいと考えます。

私は周南市政として「これだけは揺るがせない、これを外したら周南市でなくなる」というものを、**まちづくりの哲学**として持つことが何より必要だと思います。

では、周南市のまちづくりの哲学は

何かということになりますが、折しも令和7年度から始まる「**第3次周南市まちづくり総合計画**」に、その大本を求めたいと考えています。(広報4月号2～3ページ参照)

この計画では体系を「**まちの強み進化戦略**」と、「**市民生活を支える基盤強化**」の2本立てとしています。また、複数の施策を連携させ、より戦略的に進めていくため、共通の目的や使命をもつものを「**施策の束**」として捉えております。

計画の主意として、**現世代と将来世代の幸せを慮ること**、「進化」についても強いものが勝ち残るということではなく、**環境に適応するものが生き残る**ことを認識して、直面する環境に適応し、自らが変わること「進化」を成し遂げていくとしています。

さらに、生き残るための戦略も、それ自体を常に進化させなければならないと認識した上で、地域の持つ「**強み**」を**戦略的に向上**させることを掲げています。そして、「強み」を「さらに進化させるもの」「育むもの」「種をまくもの」の3段階に分類し、それぞれに最適な手法を講じていくとしています。

こうした考えは、すべてパラダイムシフトへの認識に基づいています。それは、基本理念を「**将来世代へ責任あるまちづくり**」とし、まちの将来像を「**未来を歩む生命力満ちるまち**」としていることから明らかです。

また、計画のサブタイトルを「**約束 このまちの未来**」とすることで、未来のまちの姿や将来世代の幸福を慮ることが「約束」であること、それは、**私たち現世代から将来世代への「誠実」を誓う**

ものとなっています。

こうしたことから、「第3次まちづくり総合計画」に流れる精神は、これからのまちづくりの哲学となり、芯を通すに十分な資質と重みがあるものと考えます。

新年度からこの計画を基に施策展開を行うこととなりますが、「**周南市のまちづくりには哲学がある**」と評価していただける日がくるよう、職員一同、新たな気概をもって努めてまいりたいと思います。

### まちの強み進化戦略

まちの将来像へ向けて施策効果を高めるために、本市の持つ能力や機能、技術など諸々の分野で培ってきた力を「**強み**」として捉え、「**進化させる**」「**育む**」「**種をまく**」の3つに分類しました。パラダイムシフトを前提にこれらを進化させることを施策の芯として組み込み、「強み」そのものを次のステージへ戦略的に引き上げてまいります。

#### ①まちの強みを「進化させる」戦略

本市の群を抜く強みとして、脱炭素、地域生産力、子育て施策などを取り上げ、さらなる**進化**を図る取り組みを展開してまいります。

#### ●脱炭素のまちづくりを推進する施策の束

地球温暖化対策として、地球規模でのカーボンニュートラルの実現が求められております。CO<sub>2</sub>排出量が多いとされる化学産業が集積した周南コンビナートを有する本市は、産業競争力の

維持発展の観点からもカーボンニュートラルの実現に向け、積極的に取り組む責任があります。

「周南コンビナート脱炭素推進協議会」では、令和5年に策定した「周南カーボンニュートラルコンビナート構想」の実現に向けて議論を進め、課題の精査や新たな技術の導入など、さまざまな検討を重ねているところです。

産学官の連携による取り組みのさらなる推進を図るとともに、国の動向もしっかりと注視し、引き続き、カーボンニュートラルコンビナートの実現に向けて積極的に挑戦してまいります。

また、公共施設などへのLED照明の導入などを率先して進めるとともに、市民の皆さまに対しては電気自動車やハイブリット自動車、ZEH<sup>ゼロエネ</sup>への補助を通して脱炭素社会の啓発を図ります。

その他、ブルーカーボン生態系の創出・拡大に向け、戸田漁港において、漁業者との連携による取り組みを開始いたしました。これからも市内全域でブルーエコノミーの実現を図ってまいります。

## ●地域の生産力・外貨獲得力を高める施策の束

経済環境の変化に加え、担い手の減少や高齢化が地域の生産力の萎縮につながりつつあります。特に、農林水産業における生産性・収益性の向上、6次産業化の推進や生産基盤の整備などが求められています。

道の駅ソレーネ周南は、今後ますます多様な役割を担うことが期待されております。令和7年度は「道の駅リニューアル基本計画」に基づき、拡張予定地の測量や地権者との交渉を開始するとともに、国と連携して駐車場の拡張・再編整備を進めてまいります。

農業基盤整備については、長穂地区や中郷地区、鹿野地区のほ場整備を計画的に進め、営農の省力化により持続可能な農業をめざします。今後も、地域農業の担い手への農地の集積・集約などを国や県の補助を活用しながら進めてまいります。

鳥獣による農林水産業などへの被害の防止対策については、県や猟友会

などと連携して、クマによる被害防止対策を強化し、須々万地区において、ICTを活用したサル<sup>サル</sup>の群れによる被害防止に取り組めます。

また、物価高騰などにより捕獲活動経費の負担が増える中、捕獲従事者の皆さまに継続的に活動していただけるよう、イノシシの捕獲報酬金を増額します。

木質バイオマス材の生産モデル事業については、引き続き、成長に優れた早生樹の植林などを進め、効率化と低コスト化の実証を重ねてまいります。

## ●こどもまんなか社会を実現する施策の束

本市では、令和5年に「周南市こどもまんなか宣言」を掲げ、地域の宝であるこどもの最善の利益を第一に考え、こどもに関する取り組みを地域の真ん中に据えたまちづくりを推進しています。

結婚・妊娠・出産、子育てに関する支援の他、若者を中心とした定住促進など、多様な施策を展開する中、昨今では、子育てを理解し応援する地域風土そのものの重要性が指摘されるようになりました。

こどもを生み育てたくなる風土の醸成は、こどもまんなか社会の実現になくってはならないものであり、各施策を着実に進めてまいります。

まず、こども施策の総合計画として、「周南市こども計画」を本年4月から施行いたします。「すべてのこどもが夢と希望をもって未来をつくる こどもまんなかしゅうなん」を基本理念に掲げ、こども施策を計画的に実施してまいります。



▲子育て支援センターの様子

また、未来にわたり安心できる子育て環境を確保するため、第二保育園の建て替え、北部拠点施設に併設する認定こども園の整備を進めます。

さらに、多様なこどもの居場所づくりを推進するため、新たに児童育成支援拠点の設置および地域で学習や体験の機会の提供などを行う活動への補助を新設し、見守り体制の強化に取り組めます。

未婚化・晩婚化および少子化対策の一環として、若い世代が、結婚・妊娠・出産、子育て、仕事を含めた将来像を描き、希望を実現できるよう、新たにライフデザイン支援を推進します。

児童クラブが未設置の小中学校区においては、近隣のクラブへ送迎を行うなど利用環境を整えるとともに、待機が発生しているクラブについては、教室の増設に取り組み、解消を図ります。

こども誰でも通園制度については、令和8年度からの本格実施に向けて試行し、受入体制の整備を図っていきます。

「こども家庭センター」では、引き続き、妊産婦や子育て家庭、18歳までのこどもに関する総合相談や支援の窓口として、こどもとその家庭の不安や悩みに寄り添い、切れ目のない継続的な支援を実施してまいります。

また、子育て支援情報に関連する市ウェブサイトのリニューアルし、情報発信の強化に取り組んでまいります。

## ②まちの強みを「育む」戦略

企業力・雇用力・デジタル力・教育力などを取り上げ、各分野の知見・認識を深め、現況の把握と将来展望に基づく戦略的かつ最適な施策展開を大胆に行うことで、真の強みにステージアップするよう努めてまいります。

## ●企業の変革・創業・立地を促す施策の束

企業を取り巻く厳しい環境への対処として、産業基盤の強化や雇用の確保、新たな産業の創出に努めてまいります。地域経済の屋台骨である製造業のさらなる発展に寄与するため、カーボンニュートラルに向けた次世代エネルギーへの転換や新技術の導入などの支援を行います。また、雇用の創出や企業誘致に向けた取り組みを積極的に展開してまいります。

徳山下松港は、高い水準にある石炭

需要だけでなく、再生可能エネルギーとしてのバイオマスや検討が進むアンモニアなど、多角的エネルギー供給拠点港湾を進化の方向としています。現行整備事業の早期完成を促し、カーボンニュートラルポートに向けた整備について、国や県への要望を進めてまいります。

また、周南コンビナート企業をはじめとした各事業所に対し、設備投資や雇用を支援する事業所等設置奨励金を用意し、さらなる地域経済の活性化と企業の立地の促進を図ってまいります。

### ●人材を育成し雇用力の向上を図る施策の束

生産年齢人口の減少に伴い、労働力の絶対数が不足し、地域経済へ大きな影響を与えています。そのため、人材の育成や確保の重要性は高く、事業者と一体となって取り組む実効性のある施策を展開してまいります。

地域の担い手となる若者の奨学金返還については、若者の経済的な不安を和らげ、市内定住や中小企業などの人材確保につながるよう、制度を拡充し、企業と協力して支援を行ってまいります。

農業、漁業分野の新規就業者の確保に向けても、継続的な経済支援が必要と考えております。農業分野については、新規就業者を雇用する農業法人への支援のほか、周南公立大学や県と連携しデジタル技術を活用した、ワサビの栽培環境の確立など、担い手の確保や経営の発展に向けて取り組んでまいります。

漁業分野については、独立後の安定的な操業支援として、種苗放流、産卵用タコツボの増設を継続していく他、周南たこ、周防はも、徳山ふぐなどのしゅうなんブランドの推進による高付加価値を図るなど、漁業者所得の安定・向上をめざした取り組みを推進してまいります。

### ●情報力・デジタル力を生かす施策の束

現代は、経済・社会・生活のあらゆる場面で情報化が進展し、また、AIやIoTなど

の技術革新も急速に進んでおります。

こうした情報力・デジタル力を積極的に活用することで、経済的発展や社会的課題の解決に役立て、本市の魅力向上を図ってまいります。

「周南市スマートシティ構想」に基づき、社会のあらゆる分野でデジタル技術やデータを活用した、利便性の高い、快適な暮らしの実現をめざします。具体的には、社会基盤の高度化・全体最適化の実現に向け、庁内の多様な地図情報を共有・公開する統合型・市民公開型GISの利活用を進めてまいります。

また、デジタル技術の活用により、窓口での意思疎通に係る課題の解消をめざし、「窓口用音声文字変換タブレット機器」の導入を、実証事業として取り組みます。

その他にも、本年3月から、市役所本庁舎にて、氏名・住所などの情報を複数の申請書に転記するなどの機能を持つ、窓口支援システムの運用を開始し、「書かない窓口」として市民の皆さまの窓口利用の利便性向上をめざします。

広報紙や市ホームページの他、LINEをはじめとしたSNSなど、複数の広報媒体を活用し、市政情報を積極的に発信するとともに、幅広い広聴活動に取り組むことにより、市民と行政が相互に理解し合えるまちづくりを推進してまいります。

近年頻発する自然災害に対しては、統合型GISと連携した災害情報システムを整備することにより、避難所情報や被害情報などの災害情報をより分かりやすく市民の皆さまにお知らせし、市民の安全安心を確保してまいります。

消防指令システムを更新整備することで、緊急通報を的確に受理し、市民の生命および財産を守ります。新たに整備した通信指令庁舎の運用を開始するとともに、令和12年度中に予定している周南地域3消防本部による指令システムの共同運用に向け、消防応援体制の構築を図ってまいります。

### ●教育力(学校・地域・社会)を向上させる施策の束

社会状況の如何を問わず、こどもを

育む教育環境や生涯学習の環境整備はなくてはならないものです。安全安心に学べる環境をしっかりと整えてまいります。

「周南市学校施設等長寿命化計画」を踏まえ、経年劣化に伴う損傷がみられる小・中学校校舎の外壁やトイレの洋式化への改修を計画的に進めてまいります。

児童生徒の1人1台端末の更新を順次進め、ICTや教育データを継続的に利活用できる環境整備に取り組みます。

また、大田原自然の家の移転整備については、令和8年度中のオープンをめざして、移転先としている中須中学校の改修工事を行ってまいります。

### ③まちの強みとなる「種をまく」戦略

将来まちの強みとなることが期待されるモノゴトを見だし、あるいは新たに種をまき、これから丁寧に根気よく育ててまいります。

ここでは、文化や知の力を風土づくりに生かすことと、ひとの流れをつくり、選ばれるまちとなることの2つを、種をまく段階の強みとして取り上げます。

### ●文化や知の力を風土づくりに生かす施策の束

「文化や知の力」は、品格と知性の漂うまちづくりを進める上では重要な要素となります。地域文化を育み、文化風土の醸成に取り組んでまいります。



▲回天訓練基地跡外観

本年は戦後80年の節目の年となります。徳山空襲を受けてからのまちの復興の歩みをはじめ、戦後のまちづくりを担った先人の想いや功績を次世代へつなぎ、さらには「回天」に関する遺構や資料の紹介などを通じて、広く本市から平和の大切さを発信してまいります。

周南公立大学では、知の力を活用し

た地域課題の解決やリカレント教育を進め、**大学を生かしたまちづくり**のさらなる推進を図ります。

周南市文化会館については、長寿文化や施設機能の維持向上を図る中で、利用者の安全安心を確保する観点から、大規模改修工事に着手してまいります。

また、まちなか文化ゾーンの多様な歴史や文化的価値を発信するため、周南市ゆかりの詩人、まど・みちおさんなどをテーマとした文化振興策を展開してまいります。

市民館跡地の利活用については、市民館跡地利活用構想や文化小ホール基本構想・基本計画を踏まえ、国などと連携・調整を図りながら、引き続き取り組みを進めてまいります。

### ●ひとの流れをつくり選ばれるまちをつくる施策の束

人口減少が進む中で地域の活性化はこれまでの**発想を転換**させることが求められます。まちの魅力はそのまちが進もうとする内容と本気度にあるともいわれております。まず、周南公立大学につきましては、市内外から集まる学生が、本市のまちや地域、市民に溶け込み、充実した学生生活が送れる「**風土づくり**」に努めます。

周南緑地では、PFI事業によるリニューアル工事が進んでおり、令和7年度は**新水泳場の本格工事**に着手いたします。

誰もがさまざまな形でスポーツ活動に親しめる市民スポーツの拠点づくりに取り組んでまいります。

徳山動物園では、**熱中症対策**や**ドリームデイの開催**など、快適で誰もが訪れやすい動物園をめざします。

鹿野観光交流拠点施設については、実施設計や旧鹿野総合支所の解体工事に着手し、令和9年度中の供用開始に向けて取り組んでまいります。

また、市内への定住や市外からの移住を促進するため、**周南市シティプロモーションスペシャルサイト**を全面リニューアルし、市の強みや暮らしやすさ、魅力などのさまざまな情報を、市内外に戦略的に発信します。

令和8年度に地域へ移行される中学校の部活動については、関係団体と連携し、**円滑な移行**に向けて準備を進めてまいります。さらに、中学生の参加を契機とし、**文化芸術・スポーツ活動の促進**とともに、地域の活性化へつなげてまいります。

### 市民生活を支える基盤強化

市民の皆さまの**文化と知性を育む環境を整え、健康で利便性に富む安全安心な暮らし**をめざして、この分野を「市民生活を支える基盤」として一括して捉え、「**施策の束**」の実行性を高めることとしました。

将来世代に不安なく引き渡すという視点と、現世代にこのまちに住む充足感を感じてもらいたいという双方を認識して、**強固で良質な生活基盤の構築**に努めます。

併せて時代のニーズに応え、かつ一人ひとりに行き届く行政サービスの提供をめざし、市民生活とともにある市役所の存在意義を追求してまいります。

### ●人生100年時代の暮らしと生きがいを支える施策の束

「人生100年時代」とも言われる今日、住み慣れた地域で安心していきいきと暮らせるまちは、誰もが願うものです。そのため、**健康寿命の延伸**に向けた取り組みの他、地域での**つながりの創出**が重要となることから、地域福祉施策に積極的に取り組んでまいります。

(仮称)徳山北部拠点施設整備事業については、現在、施設建設工事に着手しており、令和8年度の供用開始に向けて着実に取り組んでまいります。



▲(仮称)徳山北部拠点施設のイメージ

住民主体の地域づくり活動や生涯学習の拠点である市民センターについては、施設分類別計画の優先度に基づき、順次整備を進めます。

地域における自主的・主体的な活動を将来にわたり持続可能なものとするため、鹿野大潮地区、渋川地区に加え新たに須金地区にも地域おこし協力隊を配置し、地域づくり活動を支援するとともに、隊員の定着に繋がる活動に取り組んでまいります。

带状疱疹については、発症や重症化を予防するため、65歳以上の方には定期接種以外に現在の助成制度を1年間継続するとともに、**病気や治療などで免疫機能が低下した50歳以上の方も対象として、ワクチン接種にかかる費用の一部を助成**します。

オーラルケアの取り組みとして、令和7年度から就労世代を対象に、職場での歯科のスクリーニング検査や保健師などによる健康セミナーを行い、職域連携を図りながら市民の健康づくりを推進してまいります。

認知症の人や家族が暮らしやすい共生社会の実現をめざし、「新しい認知症観」に基づく普及啓発、認知症予防、本人・介護者の支援、社会参加に向けた取り組みを推進します。

### ●安全安心な暮らしの環境を整備する施策の束

本市においても、**自然災害から市民の生命と財産を守る**ことを第一に優先し、災害に強いまちづくりを推進してまいります。また、**市民生活の安全安心を確保**するため、関係機関と連携し、生活環境の保全に努めてまいります。

本市が管理する約800の橋りょうについて、引き続き、適切な維持管理に努めてまいります。現在、架け替え中である古川跨線橋については、鉄道事業者などの関係機関と連携し、一日も早い完成をめざしてまいります。

道路インフラの整備については、野村一丁目7号線や中間作線の整備工事を引き続き行うとともに、臨海部と国道をつなぐ中溝線についても計画的に進め、企業活動や市民生活に密着した幹線道路や生活道路の整備に取り組んでまいります。

空き家については、防災・防犯、衛生、景観など多岐にわたる大きな問題につながることから、所有者への支援

を強化することで、空き家の発生抑制、適正管理および利活用の推進を図ってまいります。

本年2月に設置した「空き家総合相談窓口」を通じ、空き家所有者への支援を強化することで、空き家の適正管理や増加抑制をめざします。また引き続き、「空き家情報バンク」や「空き家リフォーム事業補助金」による空き家の活用と定住を促すことで、人口減少の抑制に繋げてまいります。

野犬対策については、引き続き、県と連携し、**野犬を増やさない取り組み**を推進します。また、保護された犬の譲渡に係る支援や、ペットの終生飼養の市民啓発など、動物愛護の意識の醸成を図ります。

**日々のごみ出しが困難となっている高齢者などの生活を支援**するため、一定の要件を満たす世帯を対象とした**戸別収集**を試験的にを行い、課題の整理を進めます。また、収集時にごみが出されていない場合などには、併せて安否確認も行っています。

新南陽市民病院の増改築については、現在策定している基本構想・基本計画に基づき、令和7年度は今後の整備スケジュールなどを検討してまいります。

複雑化・多様化している人権問題に対しては、人権尊重の視点に立ち、多様性を認め合い、誰もが自分らしくいきいきと輝くまちをめざし、引き続き、人権教育・啓発を進めてまいります。

### ●高い行政力と職員力を構築する施策の束

市民ニーズが多様化・高度化する今日、変化をおそれず、時代に適応する柔軟さを備えて、質の高い行政サービスの提供に努めていく必要があります。

職員一人ひとりが意識改革やコンプライアンスの取り組みを徹底し、高い行政力でまちづくりを推進してまいります。

公共施設などの総合管理については、公共施設の維持管理や更新を行い、令和7年度においては策定から10年経過する「周南市公共施設再配置計画」の見直しを実施します。



令和7年2月19日 施政方針演説

### おわりに

哲学者の<sup>わしだ きよかず</sup>鷲田清一さんは哲学の持つ一面として、著書『哲学の使い方』の中で、「哲学は学問というよりは、人びとの生活そのものをいわば軸として、背骨として支えてきたものである。社会構築の理念として掲げられてきたものである。それを再認識する作業として、さらにそれを未来に向けて提示するものとしても、哲学はある」と語っています。まさしく本市が未来に向けて提示する「第3次まちづくり総合計画」に哲学を持たせたいという私の思いと一致するところと考えます。

本市のパーパス「**2050年を乗り越えられる周南市になる**」に掲げる2050年まで、残すところ四半世紀に迫りました。市役所の存在意義を問われる時代が到来しています。パーパスを一層浸透させ、職員と力を合わせて施政に臨む覚悟です。

私は、これからの本市は「**存在感のあるまち**」をめざしていくことも大切だと考えています。存在感とは「**確かにあるという感覚**」です。

本市の人口は、令和2年国勢調査の結果によると、全国1,741市区町村の中で**202位**です。しかし、全国に**18カ所**しかない国際拠点港湾を持ち、これも全国に**9カ所**しかない石油化学コンビナートを有し、新幹線のぞみが停まる**16の駅**の一つがあり、さらに、令和5年の経済構造実態調査の結果による製造品出荷額等は、**全国31位**、**中国地方4位**、**県内1位**を誇り、そして、高度医療機関や公立大学を擁し、まさしく存在感のあるまちになりつつあります。

ただ、ここでいう存在感は市外の人たちの印象や各種のランキングで示されるものだけでなく、市民の皆さまの**印象や実感に根幹があるもの**と考えます。そして「**周南市は現世代の幸福は無論のこと、将来世代の幸福にも真剣に取り組んでいる**」という将来志向を、意欲と実効性の面からも市民の皆さまと共有し、市民・企業・市役所の**信頼のトライアングル**をさらに強固なものにして、地域風土の進化も促していくことが「**存在感のあるまち**」に近づく秘訣だと確信しています。

このたびの総合計画は「**品格と誇りのある住みたくなるまち、未来が生まれるまち**」をめざしてきた軌跡上から生まれたものです。

今日まで「第2次まちづくり総合計画」の推進において、ご尽力ご協力をいただきました多くの市民の皆さまや関係者の皆さまに心から感謝を申し上げます。

引き続き「第3次まちづくり総合計画」に入らせていただき、計画の主旨を実現すべく懸命に努めてまいりますことを、謹んでお誓い申し上げたいと思います。

市民の皆さまのご理解と温かいご支援をお願い申し上げます。

令和7年2月19日

周南市長 藤井律子

第3次周南市まちづくり  
総合計画について  
詳しくはこちら



令和7年度

# 予算の概要



## 予算編成の基本方針

令和7年度は、「将来世代へ責任あるまちづくり」という基本理念のもと、子育て環境の充実、地域産業の成長、将来にわたって市民生活を支える基盤整備としての建設事業の進捗など、現世代と将来世代のつながりを意識した予算を編成しました。

この基本方針を基とした施策を展開し、令和7年度からスタートする「第3次周南市まちづくり総合計画」に掲げる施策を束として実行していくことで、まちの将来像「未来を歩む生命力満ちるまち」の実現に向けて取り組んでいきます。

## 予算の特徴

一般会計の予算は、前年度に比べ79億3,300万円、10.9%増の805億9,300万円となり、平成15年の周南市合併以降、最も大きな予算規模となりました。これは、古川跨線橋整備の進捗やPFI事業による周南緑地体育施設のリニューアル工事の進捗、保育所の再編整備の進捗などによるものです。

歳入は、定額減税の終了および所得の動向による個人市民税の増などにより、市税全体で約6億9,900万円の増となっています。また、地方交付税は、前年度から12.9%増の84億7,000万円を計上しています。

歳出は、現世代と将来世代のつながりを意識する中で、計画的に進め

ている普通建設事業の着実な進捗、未来を担うこどもたちを育む施策の充実を図りつつ、GX※1やDX※2への面的な展開を進めるなど、真に必要な取り組みに重点的に予算配分する考えのもと、積極的に基金の活用を図りながら予算を編成しました。

※1 Green Transformation（グリーントランスフォーメーション）の略語  
経済産業省が提唱する脱炭素社会に向けた取り組みを指し、カーボンニュートラルの実現のための取り組みのこと

※2 Digital Transformation（デジタルトランスフォーメーション）の略語  
ビッグデータなどのデータとAIやIoTなどのデジタル技術を活用し、従来のサービスや組織を変革すること

## 会計別予算

| 区分            | 予算額           | 構成比     | 増減率     |
|---------------|---------------|---------|---------|
| 一般会計          | 805億9,300万円   | 36.6 %  | 10.9 %  |
| 特別会計          | 313億5,191万円   | 14.2 %  | △ 1.3 % |
| 国民健康保険        | 148億2,170万円   | 6.7 %   | △ 1.8 % |
| 国民健康保険鹿野診療所   | 7,916万円       | 0.0 %   | △ 1.9 % |
| 後期高齢者医療       | 32億2,734万円    | 1.5 %   | △ 2.2 % |
| 介護保険          | 130億2,950万円   | 5.9 %   | △ 0.2 % |
| 地方卸売市場事業      | 1億6,430万円     | 0.1 %   | △10.6 % |
| 駐車場事業         | 2,991万円       | 0.0 %   | 2.0 %   |
| 水道事業会計        | 61億213万円      | 2.8 %   | 0.4 %   |
| 下水道事業会計       | 100億8,422万円   | 4.6 %   | 9.1 %   |
| 病院事業会計        | 46億3,130万円    | 2.1 %   | 1.8 %   |
| 介護老人保健施設事業会計  | 4億8,322万円     | 0.2 %   | 12.9 %  |
| モーターボート競走事業会計 | 871億8,337万円   | 39.6 %  | 15.0 %  |
| 合計            | 2,204億2,914万円 | 100.0 % | 9.9 %   |

※端数処理の関係上、数値の集計が合計欄と合わない場合があります。

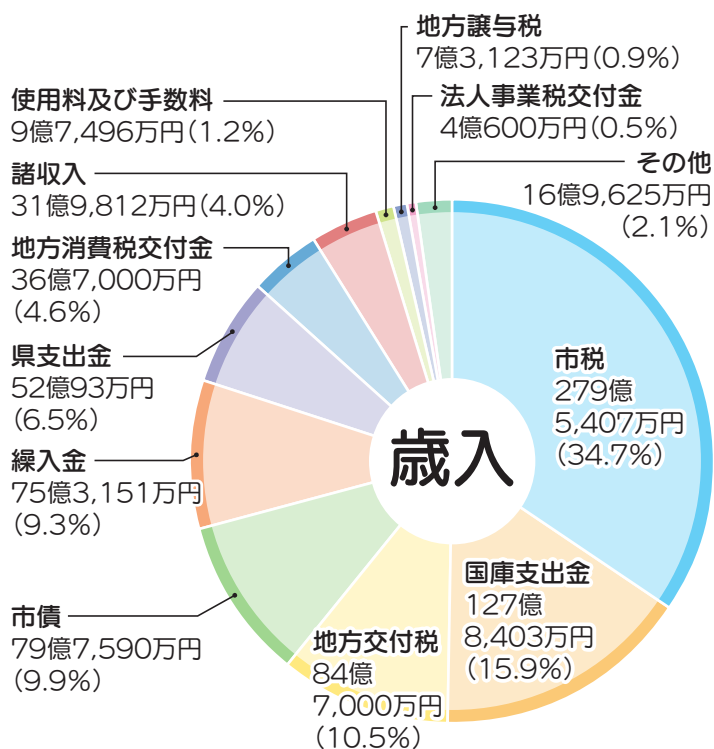
## 特別会計のポイント

- 国民健康保険は、保険給付費の減などにより、前年度から1.8%減
- 後期高齢者医療は、後期高齢者医療広域連合納付金の減などにより、前年度から2.2%減
- 駐車場事業は、指定管理者納付金収入の増などにより、前年度から2.0%増
- 地方卸売市場は、工事請負費の減などにより、前年度から10.6%減



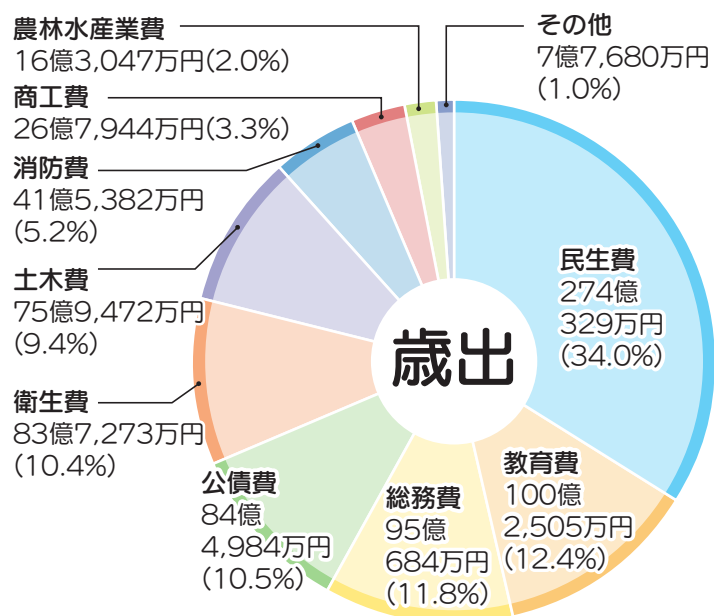
# 一般会計・歳入歳出予算 805億9,300万円

※( )内は構成比です。



## 歳入のポイント

- 市税が、歳入全体の約35%を占める。国庫支出金と県支出金を合わせて約22%、地方交付税が約11%、市債が約10%、繰入金が約9%となっている。
- 個人市民税・法人市民税・固定資産税などの市税が、前年度から2.6%増
- 地方交付税は、前年度と比べ12.9%増
- 繰入金は、子ども未来夢基金をはじめとする各基金の積極的な活用により、前年度と比べ18.5%増



## 歳出のポイント

- 民生費が全体の約34%を占める。総務費、教育費がそれぞれ約12%、公債費が約11%、衛生費が約10%となっている。
- こどもや高齢者、障害者福祉などの経費である民生費は、児童手当の拡充などにより前年度から9.1%増
- 小中学校や大学の管理運営などの経費である教育費は、陸上競技場、総合スポーツセンターの改修の進捗などにより前年度から24.2%の増
- 全般的な経費、庁舎関係などの経費である総務費は、(仮称)徳山北部拠点施設の整備などにより前年度から6.5%増

# まちの強み進化戦略 ～進化させる～

1

## 脱炭素のまちづくりを推進する施策の束

### 周南コンビナート脱炭素推進事業

予算額  
**654万円**

産学官民の連携により、周南コンビナートの産業競争力維持・強化とカーボンニュートラルを推進します。



財源内訳  
市の負担額 654万円

主な内容  
○市内コンビナート企業および化学工学会などと周南コンビナートの脱炭素化に向けた協議会などを開催

問合せ 商工振興課 ☎0834-22-8837

2

## 地域の生産力・外貨獲得力を高める施策の束

### 道の駅リニューアル事業

予算額  
**5,353万円**

産業や地域の振興、雇用・にぎわいの創出などに寄与するとともに、こどもから高齢者まで誰もが楽しく・快適に・健康的に過ごせる道の駅パークの実現をめざし、道の駅の機能拡充を図ります。



財源内訳  
市の負担額 5,353万円  
(うち借入金 3,600万円)

主な内容  
○拡張予定地の用地測量および用地交渉  
○駐車場拡張・再編整備のための造成設計  
○リニューアル整備に係る業務発注の準備

問合せ 農業振興課 ☎0834-22-8369

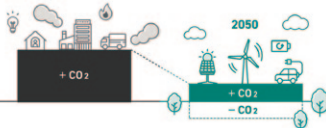
### 脱炭素社会推進事業

予算額  
**4,919万円**

脱炭素社会の実現に向けて、地球温暖化対策を着実に推進します。

財源内訳  
市の負担額 4,519万円  
その他 400万円

主な内容  
○環境負荷の少ない住宅や自動車導入に対する補助  
○周南市温暖化対策地域協議会の運営支援  
○公共施設などへのLED照明の導入  
○市内一斉ノーマイカーデーの実施

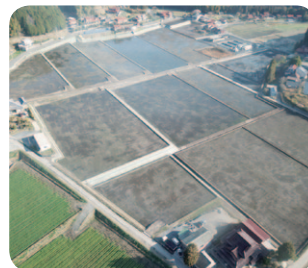


問合せ 環境政策課 ☎0834-22-8324

### 農業競争力強化基盤整備事業(県営事業)

予算額  
**6,192万円**

水路や農道などを一体的に整備し、農地を大区画化することで、営農の省力化を進め、将来の農業生産を担う法人・新規就農者の確保・育成を図ります。



財源内訳  
国や県の負担額 1,275万円  
市の負担額 4,237万円  
(うち借入金 2,550万円)  
その他 680万円

主な内容  
○ほ場整備の実施(長穂地区・中郷地区)  
○ほ場整備の実施に向けた検討(鹿野地区)

問合せ 農林整備課 ☎0834-22-8361

### ブルーカーボン推進事業

予算額  
**738万円**

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて環境と調和のとれた持続可能なブルーエコノミーを推進し、水産振興と地域活性化を図ります。



財源内訳  
市の負担額 238万円  
その他 500万円

主な内容  
○大島干潟を拠点に、市内他地域へのブルーカーボン創出・拡大  
○JBEが認証・発行するJブルークレジットへの申請支援

問合せ 水産振興課 ☎0834-22-8366

### 民有林施業促進事業

予算額  
**1億5,761万円**

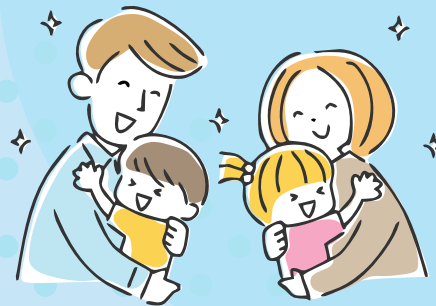
林業の収益性を高めるため、民有林(市有林と私有林など)を面的にまとめ、林業専用道などの路網を整備し、施業を促進します。



財源内訳  
国や県の負担額 1,280万円  
その他 1億4,481万円

主な内容  
○適切な森林経営管理が行われていない人工林の間伐  
○林業専用道などの整備  
○高精度な森林資源情報の取得

問合せ 農林整備課 ☎0834-22-8360



3

## こどもまんなか社会を実現する施策の束

### 保育所再編整備事業

予算額

10億7,009万円

公立保育所などの再編整備を進めることで、安全安心な保育環境を確保します。



#### 財源内訳

市の負担額 9億3,462万円  
(うち借入金 9億1,700万円)  
その他 1億3,547万円

#### 主な内容

- 須々万地区における認定こども園の整備
- 第二・尚白保育園の再編整備に伴う施設の解体、建設

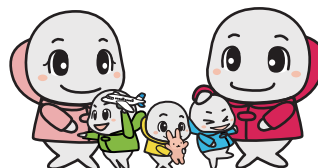
問合せ こども保育課 ☎0834-22-8207

### こども医療費助成事業

予算額

6億4,333万円

こどもの医療費の自己負担額を助成し、こどもの保健の向上と子育て世帯の経済的負担を軽減します。



#### 財源内訳

市の負担額 1億3,009万円  
その他 5億1,324万円

#### 主な内容

- こども医療費助成

ポートルース徳山オリジナル  
マスコットキャラクター「すなっち」

問合せ 子育て給付課 ☎0834-22-8460

### こども・若者応援事業

予算額

3,791万円

多様なこどもの居場所づくりやライフデザイン支援を通して、こどもや若者が将来に向けて夢や希望を描き、実現できるよう応援します。



#### 財源内訳

国や県の負担額 2,496万円  
その他 1,295万円

#### 主な内容

- 学習のサポート、食事の提供、体験活動など、多様なこどもの居場所づくりを支援
- 若い世代向けのライフデザイン支援

問合せ あんしん子育て推進課 ☎0834-22-8452

### こども家庭センター事業

予算額

7,676万円

妊産婦、18歳までのこどもや子育て家庭への包括的な支援や、児童虐待などの未然防止、早期対応により、安心できる子育て環境を確保します。



#### 財源内訳

国や県の負担額 5,623万円  
その他 2,053万円

#### 主な内容

- 専門職による伴走型相談支援
- 児童虐待防止対策の強化
- 包括的な支援体制の構築

問合せ あんしん子育て推進課 ☎0834-22-8550

### 乳児等通園支援事業

予算額

1,108万円

在宅子育て家庭に対して、こども誰でも通園制度の取り組みを推進します。



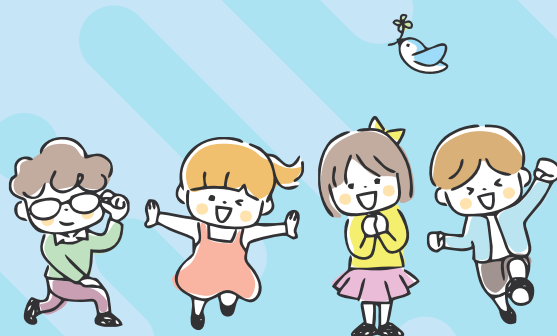
#### 財源内訳

国や県の負担額 756万円  
その他 352万円

#### 主な内容

- 令和8年度のこども誰でも通園制度の本格実施に向け試行的事業を実施

問合せ こども保育課 ☎0834-22-8455



# まちの強み進化戦略 ～育む～

4

## 企業の変革・創業・立地を促す施策の束

### 企業立地促進事業

予算額

1億2,009万円

「市内への事業所進出」、「市内事業所の事業拡大」の促進により、雇用の創出と地域経済の活性化を図ります。

#### 財源内訳

市の負担額 1億2,008万円  
その他 1万円

#### 主な内容

- 製造業などに係る事業所などの新設、増設、更新への支援
- 本社機能の移転などへの支援
- 中心市街地などでの情報・通信産業などの開設への支援
- 中心市街地でのオフィス開設への支援



問合せ 商工振興課 ☎0834-22-8223

5

## 人材を育成し雇用力の向上を図る施策の束

### 未来人材奨学金返還支援事業

予算額

323万円

本市に居住し、中小企業などに正規雇用されている若者に対し、奨学金の返還支援を行うことで、企業人材の確保と若者の定住を促進します。

#### 財源内訳

市の負担額 323万円

#### 主な内容

- 奨学金返還支援の実施
- 中小企業、福祉・医療・教育事業所および学生などへの制度周知



問合せ 公立大学連携課 ☎0834-22-8834

### 港湾整備県事業負担金(現年分)

予算額

2億3,667万円

県が実施する徳山下松港の港湾建設に係る事業費の一部を負担することで、施設利用者や海上輸送の安全性・効率性の向上と、周南コンビナートの国際競争力の強化を図ります。

#### 財源内訳

市の負担額 2億3,377万円  
(うち借入金 1億6,890万円)  
その他 290万円

#### 主な内容

- 県が実施する徳山下松港(徳山港区・新南陽港区)の岸壁、舗装改修、護岸改良などの港湾建設(修築)事業費の一部を負担



問合せ 河川港湾課 ☎0834-22-8561

### 新規就農者確保・定着支援事業

予算額

978万円

就農希望者確保や、就農後の早期経営の安定化、農業法人の生産規模拡大などを支援し、地域農業の担い手の確保や定着を図ります。

#### 財源内訳

国や県の負担額 466万円  
市の負担額 512万円

#### 主な内容

- 就農予定者の技術研修の支援
- 新規就農者の経営安定・育成のための支援
- 就農フェアなどへの参加



問合せ 農業振興課 ☎0834-22-8356

### 新規漁業就業者定着促進事業

予算額

623万円

本市水産業をPRし、人材を確保することで、新規漁業就業者の定着を進めます。

#### 財源内訳

国や県の負担額 311万円  
市の負担額 312万円

#### 主な内容

- 新規漁業就業希望者に対する長期漁業技術研修
- 新規漁業就業者に対する経済的な自立化支援(3年間)および漁船などのリース支援



問合せ 水産振興課 ☎0834-22-8366



今後の進化に向け改善や見直しを図りながら取り組みを育む



6

## 情報力・デジタル力を生かす施策の束

### 窓口DX化推進事業

予算額

3,452万円

窓口で申請書に記入する市民の負担軽減のため、「書かない窓口」を推進します。



#### 財源内訳

市の負担額 3,452万円

#### 主な内容

- 窓口支援システムの運用
- 窓口支援システムの拡張や基幹系システムとの連携機能の構築

問合せ 市民課 ☎0834-22-8293

7

## 教育力(学校・地域・社会)を向上させる施策の束

### 小・中学校改修事業

予算額

6億1,577万円

安心して快適に学べる教育環境確保のため、大規模改修や必要な施設整備を実施します。



#### 財源内訳

国や県の負担額 1億3,873万円  
市の負担額 2億8,125万円  
(うち借入金 2億1,760万円)  
その他 1億9,579万円

#### 主な内容

- 外壁改修工事
- トイレ改修工事
- 消火設備改修工事

問合せ 教育政策課 ☎0834-22-8533

### 防災DX化推進事業

予算額

9,787万円

災害情報システムを導入し、迅速かつ的確な避難情報などを伝達することで、市民の安全安心を確保します。



#### 財源内訳

市の負担額 9,787万円  
(うち借入金 9,370万円)

#### 主な内容

- 統合型GISを活用した災害情報システムを導入
- 災害情報や避難所情報などを集約化したポータルサイトを構築

問合せ 防災危機管理課 ☎0834-22-8208

### 中須自然の家整備事業

予算額

2億4,619万円

安全安心な環境で、さまざまな体験活動や交流を通じた、次代を担う青少年の育成などを推進するため、大田原自然の家の移転先である旧中須中学校を、中須自然の家として整備します。



#### 財源内訳

市の負担額 2億4,619万円  
(うち借入金 2億4,270万円)

#### 主な内容

- 中須自然の家整備工事の実施
- 入口改良工事の実施
- 大田原自然の家移転準備

問合せ 生涯学習課 ☎0834-22-8697

### スマートシティ推進事業

予算額

4,040万円

市民の利便性、行政事務の生産性の向上などによる快適な暮らしを実現するため、先端技術やビッグデータなどを活用したまちづくりを推進します。



#### 財源内訳

市の負担額 3,843万円  
その他 197万円

#### 主な内容

- スマートシティの実現に向けた先端技術などの利活用
  - ・住民、学校、企業などと連携した課題解決
  - ・オンライン手続の拡充
  - ・キャッシュレス決済対応窓口の拡充

問合せ スマートシティ推進課 ☎0834-22-8263

### 教育情報化推進事業

予算額

4億2,029万円

児童生徒の情報活用能力向上、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実、教職員の働き方改革の実現を図ります。



#### 財源内訳

国や県の負担額 1億4,527万円  
市の負担額 1億8,002万円  
その他 9,500万円

#### 主な内容

- 小・中学校の教育ICT環境の整備・管理
- 学校教育情報化に係る支援体制の構築・運営

問合せ 学校教育課 ☎0834-22-8543

# まちの強み進化戦略 ～種をまく～

8

## 文化や知の力を風土づくりに生かす施策の束

### 戦後80年事業開催事業

予算額  
917万円

戦後80年を契機に、本市における戦争の歴史を知り、戦争の悲惨さや平和の尊さ、命の大切さについて考え、発信する機会を提供します。また、先人たちの戦後復興の功績を未来のまちづくりに活用します。



#### 財源内訳

その他 917万円

#### 主な内容

- 講演会などの開催
- リーフレットおよび展示パネルなどの作成
- 物品資料など作成
- イベントなど開催

問合せ 文化振興課 ☎0834-22-8622

### 文化会館整備事業

予算額  
1億653万円

文化会館の大規模改修に向けて、基本設計・実施設計などの業務を行い、施設・設備の効率的・効果的な改修を実施することで、質の高い舞台芸術および安全で快適な文化活動の環境を提供します。



#### 財源内訳

その他 1億653万円

#### 主な内容

- 文化会館大規模改修に向けた基本設計・実施設計など

問合せ 文化振興課 ☎0834-22-8622

### 大学を生かしたまちづくり推進事業

予算額  
559万円

大学の「知の力」を活用した公開講座の実施などにより、市民の学び直しを支援し、地域人材を育成するとともに、学生の地域への定着につなげていきます。



#### 財源内訳

市の負担額 559万円

#### 主な内容

- 周南公立大学と連携した公開講座の開催
- 周南公立大学が実施する「履修証明プログラム」や「科目等履修生制度」などの受講料等に対する補助
- 周南公立大学卒業生の地域定着に向けた調査・分析
- 周南公立大学の経済波及効果の推計

問合せ 公立大学連携課 ☎0834-22-8834

### 文化活動支援事業

予算額  
5,527万円

文化振興財団と連携し、文化芸術の振興を図ります。また、中学校部活動の地域移行に伴う新たな文化芸術活動の推進体制の構築を進めます。



#### 財源内訳

市の負担額 2,719万円

その他 2,808万円

#### 主な内容

- 文化振興財団への運営費の補助
- 部活動の地域移行に伴い設置する「かるちゃあサポートセンター」の運営費の補助

問合せ 文化振興課 ☎0834-22-8622



将来に向け、まちを強くするために  
必要な取り組みの種をまく



9

## ひとの流れをつくり選ばれる まちをつくる施策の束

### 動物園リニューアル事業

予算額

4億1,618万円

入園者に非日常的な空間の中で、驚きや感動が連続する時間を体験してもらえるよう、動物園のリニューアル工事を実施します。

#### 財源内訳

国や県の負担額 1億8,800万円  
市の負担額 2億2,068万円  
(うち借入金 1億6,920万円)  
その他 750万円

#### 主な内容

- (南園)機関車広場周辺のオープン
- (北園)オオワシ〜トラ舎建設工事の完了
- 新たな動物園の管理・運営および広場ゾーンなどの建設に民間活力を導入



機関車広場イメージ

問合せ 徳山動物園 ☎0834-22-8150

### 周南緑地体育施設等整備 管理運営事業

予算額

20億7,319万円

PFIによる民間のノウハウを活用した施設の整備・改修や維持管理・運営により、快適なスポーツ環境の提供や利用者満足度の向上等を図ります。

#### 財源内訳

国や県の負担額 8億4,826万円  
市の負担額 11億586万円  
(うち借入金 9億3,000万円)  
その他 1億1,907万円

#### 主な内容

- 周南緑地PFI事業(体育施設等の維持管理・運営、整備・対象施設の整備業務)
- 周南緑地受電キュービクル改修工事



完成イメージ

問合せ スポーツ振興課 ☎0834-22-8624

### 鹿野観光交流拠点施設 整備事業

予算額

3億809万円

鹿野地域観光振興プランを具現化し、周遊促進の起点となる施設の整備を進めます。

#### 財源内訳

市の負担額 3億809万円  
(うち借入金 3億800万円)

#### 主な内容

- 鹿野観光交流拠点施設整備に向けた実施設計、造成設計業務委託
- 旧鹿野総合支所解体工事



問合せ 観光振興課 ☎0834-22-8372

### 日常をときほぐす 観光事業

予算額

355万円

中山間地域における多彩な地域資源を活用した観光振興を推進することで、交流人口の拡大や地域経済の循環を促進し、持続可能な地域の実現につなげます。

#### 財源内訳

国や県の負担額 74万円  
市の負担額 31万円  
その他 250万円

#### 主な内容

- 特設ウェブサイトなどによる情報発信
- ワーケーション推進に向けた情報発信



問合せ 観光振興課 ☎0834-22-8372

### 移住交流推進事業

予算額

2,127万円

本市への愛着や認知度の向上、関係人口の創出・拡大、移住定住につながる取り組みを進めます。

#### 財源内訳

国や県の負担額 371万円  
市の負担額 756万円  
その他 1,000万円

#### 主な内容

- 市民などと連携した本市の特色や魅力を伝える情報発信
- 移住希望者への相談対応や移住支援、定住につながる取り組みの実施



問合せ 移住交流推進課 ☎0834-22-8341

### スポーツ活動支援事業

予算額

5,678万円

市民などのスポーツ活動を推進し、スポーツ協会が実施する取り組みを支援します。また、中学校部活動の地域移行に伴い、新たなスポーツ活動の環境整備を進めます。

#### 財源内訳

市の負担額 1,075万円  
その他 4,603万円

#### 主な内容

- 市スポーツ協会への運営費の補助
- 部活動の地域移行に伴い設置する「スポーツ活動サポートセンター」の運営費の補助



問合せ スポーツ振興課 ☎0834-22-8624

# 市民生活を支える基盤強化

10

## 人生100年時代の暮らしと 生きがいを支える施策の束

### (仮称)徳山北部拠点 施設整備事業

予算額

10億7,554万円

徳山北部地域の生活圏の中心である須々万地区への拠点施設の整備を進めます。



完成イメージ

#### 財源内訳

市の負担額 6億3,451万円  
(うち借入金 6億3,310万円)  
その他 4億4,103万円

#### 主な内容

○施設整備に向けた建物建設工事や外構工事の実施

問合せ 地域づくり推進課 ☎0834-22-8336

### 予防接種事業

予算額

6億2,419万円

予防接種により、感染のおそれがある疾病の発生、まん延、重症化などの予防に取り組みます。



#### 財源内訳

国や県の負担額 224万円  
市の負担額 5億5,279万円  
その他 6,916万円

#### 主な内容

○定期予防接種を実施  
○带状疱疹などの任意予防接種費用の一部を助成

問合せ 健康づくり推進課 ☎0834-22-8553

### 中山間地域戦略 プロジェクト事業

予算額

1,480万円

地域の主体的な取り組みが将来にわたって持続可能なものとなるよう、外部人材を活用した地域づくり活動の支援を行います。



#### 財源内訳

市の負担額 1,474万円  
その他 6万円

#### 主な内容

○鹿野地域(大潮・渋川)および須金地域に配置する地域おこし協力隊員による地域づくり活動の支援

問合せ 地域づくり推進課 ☎0834-22-8336

### 市民センター整備事業

予算額

1億603万円

地域づくりおよび生涯学習活動の推進拠点である市民センターの利便性の向上と、安全安心の確保を図ります。



#### 財源内訳

市の負担額 8,200万円  
(うち借入金 8,120万円)  
その他 2,403万円

#### 主な内容

○戸田市民センター設備改修工事  
○久米市民センター設備改修工事

問合せ 地域づくり推進課 ☎0834-22-8296

### 歯科口腔保健事業

予算額

1,427万円

生涯を通じた歯と口腔の健康づくりを目的に、ライフステージに応じた歯科口腔保健事業を実施します。



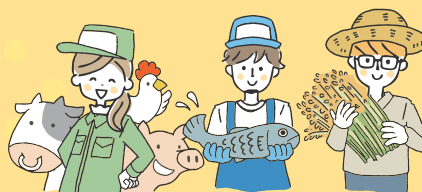
#### 財源内訳

国や県の負担額 477万円  
市の負担額 775万円  
その他 175万円

#### 主な内容

○乳幼児への歯科相談・教室  
○保育所などでのフッ化物洗口  
○いい歯スマイル検診  
○就労世代への口腔内スクリーニング検査

問合せ 健康づくり推進課 ☎0834-22-8553





## 11 安全安心な暮らしの環境を整備する施策の束

### 古川跨線橋整備事業

予算額  
**31億7,971万円**

市民の安全安心を確保するため、老朽化した古川跨線橋の架け替えを行います。



#### 財源内訳

国や県の負担額 17億4,185万円  
市の負担額 14億3,786万円  
(うち借入金 12億8,260万円)

#### 主な内容

OJR敷地内の工事委託(新しい橋の架設)

問合せ 道路課 ☎0834-22-8279

### 野犬等対策事業

予算額  
**1,016万円**

野犬を増やさない取り組みとともに動物愛護を推進し、安全安心の向上を図ります。



#### 財源内訳

市の負担額 65万円  
その他 951万円

#### 主な内容

○野犬への餌やりや遺棄禁止のパトロール  
○犬猫不妊去勢手術費への補助  
○捕獲または保護された犬の譲渡活動への補助

問合せ 環境政策課 ☎0834-22-8322

### 未来へつなぐ 空き家対策事業

予算額  
**1,846万円**

空き家の流通や利活用の促進により、空き家問題の解決に取り組みます。



#### 財源内訳

国や県の負担額 375万円  
市の負担額 1,346万円  
その他 125万円

#### 主な内容

○空き家の所有者などに対する適正管理の働きかけ  
○空き家総合相談窓口の開設による空き家の所有者などへの支援  
○危険空き家解体、空き家リフォームに対する補助

問合せ 住宅課 ☎0834-22-8385

### 高齢者等のごみ出し 支援実証事業

予算額  
**361万円**

1人暮らしなど、高齢者のみの世帯が増加する中で、指定されたごみステーションにごみを出すことが困難となっている高齢者などの生活を支援します。



#### 財源内訳

市の負担額 361万円

#### 主な内容

○一定の要件を満たす高齢者などのみの世帯に対し、週1回決められた曜日に玄関先まで取りに行く、ごみの戸別収集を試験的に実施  
○必要に応じて安否確認を実施

問合せ リサイクル推進課 ☎0834-22-8303

### 人権啓発事業

予算額  
**159万円**

市民一人ひとりの人権意識を高めるため、講演会やイベントを開催します。



#### 財源内訳

国や県の負担額 9万円  
市の負担額 150万円

#### 主な内容

○人権講演会・イベントの開催  
○広報紙、市ホームページなどによる啓発活動  
○人権擁護委員などと連携し啓発活動を推進

問合せ 人権推進課 ☎0834-22-8456

## 12 高い行政力と職員力を構築する施策の束

### 公共施設マネジメント 推進事業

予算額  
**2,019万円**

本市の公共施設を長く安全に使えるように策定した公共施設再配置計画の10年見直しを実施し、老朽化した施設の修繕や、新しい施設の建設など、みんなが快適に過ごせるまちづくりを進めていきます。

#### 財源内訳

市の負担額 7万円  
その他 2,012万円

#### 主な内容

○公共施設等総合管理計画「周南市公共施設再配置計画」の見直し  
○本市の公共建築物の安全性確保を目的とした法定点検および自主点検の実施



問合せ 施設マネジメント課 ☎0834-22-8202



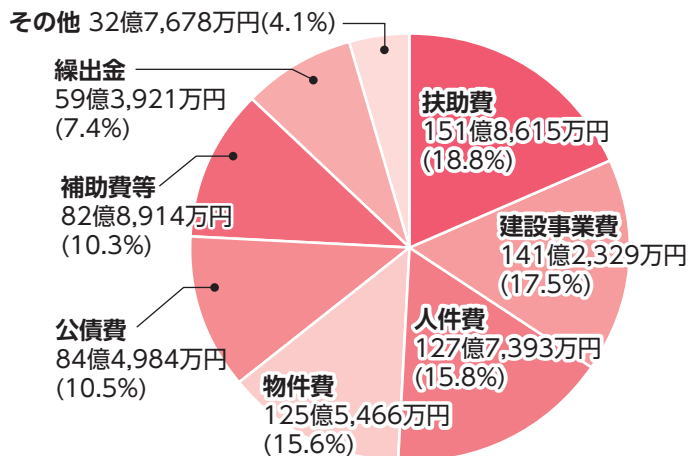
# グラフで見る予算の状況

## 性質別内訳の状況

### 令和7年度一般会計歳出予算の内訳(性質別)

扶助費・人件費・公債費は、その支出が義務付けられ、任意に節減できない経費である義務的経費に分類され、支出全体の約45%を占めています。

児童手当の拡充などにより扶助費が増加し、支出全体の約19%を占めています。

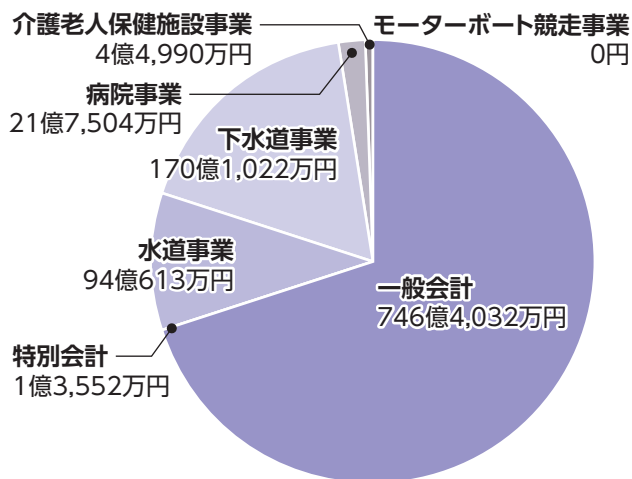


※端数調整の関係上、数値の集計が合計と合わない場合があります。  
※( )内は構成比です。

## 借入金(市債)の状況

### 令和7年度末借入金残高見込み(全会計)1,038億1,712万円

自治体では、その年に使うお金は、同じ年度で得る収入(市税や地方交付税など)で賄わなければならないため、多額の費用を必要とする公共事業は、その年の収入だけでは実施することが困難です。また、公共事業の効果は長期間に及ぶことから、世代間の負担を均等にすることを目的に、借入れをすることが認められています。市では、借入れに際し、返済に当たって国からの財政支援のある有利な借入金の選択に努めています。



※端数処理の関係上、数値の集計が合計と合わない場合があります。

## 基金(貯金)の推移(決算)

市の基金のうち、自由に取り崩しができる基金は、財政調整基金と減債基金です。市では、不測の事態に対応するとともに、まちづくりを着実に推進するため計画的に積み立てており、弾力的な財政運営を行っています。

